

会員拡大に
頑張ろう!

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp



活動方針を決定した代議員総会

爆音被害解消！ 基地撤去！ 静かで平和な空を取り戻す —厚木爆同第59回定期代議員総会—

5月11日、厚木爆同第59回定期代議員総会を大和市渋谷学習センターで開催しました。総会では一年間の総括と決算、活動方針と予算、役員人事を決定。静かで平和な空を取り戻すために、全力で取り組むことを誓い合い、総会決議を採択しました。

多数の来賓が挨拶、 近隣市長もメッセージ

総会は高久保副委員長の開会挨拶で始まり、厚木爆同を代表して石郷岡忠男委員長が挨拶。来賓として第五次厚木基地爆音訴訟原告団・大波修二団長、県央共闘会議・越川好昭事務局長、神奈川県平和運動センター・道田哲朗事務局長、社民党・佐々木克己副代表からそれぞれ連帯と激励の挨拶をいただきました。

進む基地機能の強化、 騒音被害は増加、 危険が高まったことを確認

また、近隣の大和、綾瀬、座間、海老名、相模原、藤沢の各市長からメッセージをいただき、代表して大和市長のメッセージを読み上げました。

活動の総括では、昨年3月末に艦載機のうちジェット戦闘機の岩国移駐が完了しましたが、米軍の常駐機やヘリコプター部隊による訓練、さらには他基地から飛来する外来機の飛行が活発化すると共に、自衛隊機による訓練が頻繁に行われるようになり、移駐した艦載機も昨年末からたびたび飛来するなど、厚木基地の機能強化が進められています。発生回数が1年多い70〜90デシベルの騒音は2〜3割程度しか削減されていないことを確認。中でも、自衛隊の対潜哨戒機P1の訓練が増加。それに伴う騒音が増加していることを確認しました。

昨年空母艦載機の墜落事故や米軍機の事故、自衛隊機の部品落下事故、オスプレイの飛来が相次



移駐後も頻繁に飛来する艦載機

ぎ、騒音だけでなく墜落や部品落下の危険も高まっており、不安解消の対応を行っていることを報告し、承認されました。

静かで平和な空を 取り戻すために

静かで平和な空を取り戻すための基本方針として、次の11項目について取り組むことを決めました。

- ①航空機騒音の解消と基地機能の縮小、②航空機の墜落防止・部品落下、③オスプレイ飛来阻止、④第五次厚木基地爆音訴訟支援、⑤平和憲法を守り、反基地平和運動、⑥諸団体と連携、⑦組織強化、⑧NHK受信料全額免除、⑨自治体との連携強化、⑩結成60周年記念事業、⑪財政安定化。

本部役員を選出、 総会決議を採択

総会では2019年度〜2022

功労者表彰

厚木基地爆音防止期成同盟役員として多年にわたり献身的に活動され、厚木基地の騒音被害解消と

統一自治体選挙 ご支援ありがとうございました

4月に行われた統一自治体選挙で、厚木爆同は7人の候補を推薦。脇礼子・神奈川県議、金子豊貴男・相模原市議、大波修二・大和市議の3人の候補が当選しました。爆同と連携して、頑張っていたできます。

《2019・2020年度》

厚木爆同本部役員

担当	氏名	所属支部
委員長	石郷岡 忠男	綾瀬
副委員長	高久 保	座間
//	森 謙治	大和中
//	日朝 志郎	海老名
書記長	荻窪 幸一	大和北1
書記次長	前田 伸幸	藤沢
総務部長	福田 一二	相模原
組織部長	前田 伸幸	兼務
情宣部長	越川 好昭	綾瀬
調査部長	山本 健治	町田
会計一般	瀬野 壽伸	大和南2
会計特別	齊藤 孝幸	大和中
会計監査	飯森 昭男	大和北1
//	川村 政枝	綾瀬
特別執行委員	大波 修二	五次原告団長
//	斉藤 昌民	五次書記長
顧問	浜崎 重信	大和北1
//	平岡 幸雄	海老名
//	中川 敦至	大和中

運動の先頭に立てて 諸団体と共闘する

厚木爆同委員長 石郷岡 忠男

第59回定期代議員総会が会員皆様の協力によって無事終了する事ができました。御協力ありがとうございました。総会で確認された事に関しては、執行部一丸となって取り組んで参ります。



基地司令官への要請行動

監視行動では、国が発表している内容と違う部分があると確認され、効果的な行動でしした。行動を起こす事の重大性を感ずると共に、この先も

この行動を続けていかなければならないと気持ちを新たにしているところだ。

空母艦載機の岩国移駐に伴って、厚木基地の状況が変化しました。本来厚木基地所属ではない、外来機と呼ばれるジェット機の飛来が増加しています。また、オスプレイの飛来も相次ぎました。オスプレイは日本に配備後、事故率がどんどん上がっています。このような危険な航空機が住宅の真上を飛行する事に、強い恐怖と怒りを感じます。

私たちはオスプレイの監視行動を強めると共に、抗議の行動を起こさなければならぬと考えています。

この行動は厚木爆同が単独で行うより、他の平和団体あるいは自治体等を巻き込んだ大きな運動にして、国に圧力をかけていくべきです。厚木爆同は常に先頭に立って、運動を引っ張っていく決意です。

厚木基地は戦争に一番近い基地です。今国会では、現在の平和憲法を改悪し

て戦争ができる国にしようとしています。このまま改悪が進めば、厚木基地は一番危険な基地となります。

私たちはこの件に関して常に注意を払って、憲法の改悪には絶対反対を表明してまいります。

厚木爆同は静かで平和な空が戻るまで、今年も元気に運動を進めて参ります。

厚木基地の現状と今後の課題

五月十一日、定期代議員総会が開催され、二〇一九年度の活動がスタートしました。新年度のスタートにあたり、現在の厚木基地を取り巻く状況と将来予想される心配事や課題を提起することで、会員の皆様とともに考え、運動を進めていく材料になればと思います。

「移駐後も厚木基地の役割は今までと変わらない」という米軍司令官の言葉を証明するように五月七日に空母艦載機の



着陸訓練（FCLP）を硫黄島で行ったという通告がありました。内容は、五月九日から十九日まで11:00から翌3:00まで、その上五月十六日から十九日は予備施設として厚木基地

が指定されていきました。この通告後、大和市長と綾瀬市長が米海軍厚木基地司令官、外務、防衛両大臣に対し「厚木基地で訓練を行わないよう」要請しました。

結果的には今回は厚木基地には来ませんでした。硫黄島訓練が行われるたびに予備施設として厚木基地が指定され、まさに厚木基地の役割は米軍にとって全く変わらないのです。

それだけでなく、今年になってからも一月四日オスプレイ二機飛来を皮切りに一月九日から四月二十二日まで、延べ七十三機ものF/A18やオスプレイ等の飛来がありました。そして四月二十六日には日米友好祭のために多数の艦載機などが厚木に飛来しました。

約六〇年にわたる厚木爆同運動や五次にわたる裁判闘争など、私たち住民の「静かな空」を求める声が岩国移駐の大きな力になったことは評価できますが、今年になってからでもすでに厚木基地には多数の艦載機が飛来し、全く安心できる状況ではありません。

そんな中、五月二十一日に大和市基地対策協議会の総会が開かれました。大和市長を会長に議員や自治会、教育関係、医療関係等関係団体の代表と学識経験者として厚木爆同からも委員として参加しています。そこでは厚木基地の所在による負担の軽減、基地周辺の環境や安全対策、財政的措置に関する事項に関して要望書を作成し、夏に米国と国（外務省、防衛省、総務省）に対し、要請行動を行います。今回の総会では、最後に基地対策課から昨年の四月から十二月までの「航空機騒音の測定回数」の報告がありました。前年同期と比べ二〇%の減といわれましたが、飛行回数では11、135回と依然としてもすごい数の飛行がある実態がわかりました。その上、自衛隊機P1やヘリコプターの深夜・早朝の飛行などの抗議も市に届いているように「静かな空」にはほど遠い状況だとわかりました。

最後に厚木基地に関わる将来の心配について考えてみましょう。一つ目は、木更津で行われているオスプレイの整備が不調で新たに業者の変更がありそうなどという事です。万が一厚木基地関係の業者がオスプレイの整備を担うことになれば、オスプレイが頻りに厚木に飛来することになります。この欠陥機が住宅密集地の上空を飛ぶことは絶対に容認できません。

二つ目は、米国から百機以上購入予定のF35最新鋭ステルス戦闘機。自衛隊に配備されるのですが、この訓練に艦載機の移駐で空いた厚木基地が使われる可能性も考えられるという事です。本来46文書で「自衛隊のジェット機は厚木で使用しない」約束だったので、すでにP1というジェット機が約束を破って厚木基地には二十一機も配備されています。F35が配備される心配も十分あるのです。

新年度スタートにあたり、あらためて厚木基地について考えるきっかけに、今後も監視し、抗議行動も含めて「静かな空」を実現するまで頑張ります。

（副委員長 森 謙治）

支部からこんにちは！

綾瀬支部

支部長 貝津正孝

綾瀬支部はこれまで、石郷岡忠男爆同委員長が支部長も兼任して来られました。他の平和運動団体等との連携の必要性がより求められている現状を考え、委員長職に専念していただくことにして、支部長を貝津正孝に交代。新体制になりました。なお、石郷岡さんには引き続き、市基地対策協議会委員を務めて頂きます。

支部長が交代

会員拡大を図りたい

支部は、会員世帯数162を1特区を含め9区に分けてそれぞれに担当を当て、会報配布等の活動をしています。折々に会員間の情報交換はしているものの、支部会議という形ではまだできていない状態です。先日、会員の岡さんが野菜作りを楽しんでいる農園の一角をお借りして、訴訟団との合同企画で15人が参加してのバーベキューを楽しみました。支部としての初活動でしたが会話も弾み、秋のピースフェス

ティバルに支部としての参加を計画してみようなどと盛り上がりました。これを機に、支部会議の早期開催を図りたいと思っています。滑走路南側に当たる市南部地域は艦載機移駐後、100デシベル超の爆音は減ったものの、70〜90デシベルの騒音は大きく減ってはいないのが現状です。静かな空の下、平和で安全な生活を確認するため、一人でも多くの市民に運動への理解を求め、共に行動する会員の拡大も図りたいと思っています。